



チリカ湖北部の粗放的な素掘養殖池（1980年代中旬より15年以上継続して実施されている）



Mainsa 村（日本の NGO と現地 NGO で漁民の村落開発をおこなっている）



Satpada 付近の水路（水路に小型定置網が林立し、回遊性魚類の乱獲および流速低下によるシルト堆積の原因となっている）



同上



砂州の人工開削部（右が海側、左がラグーン側）



ミニ流域管理計画の一部として導入されている淡水養殖スキーム（村落の共有池でのコイ養殖）



Kalupara Ghat 村の魚水揚場



NGO とのミーティング



同上、漁民の休憩施設（CDA が建設）



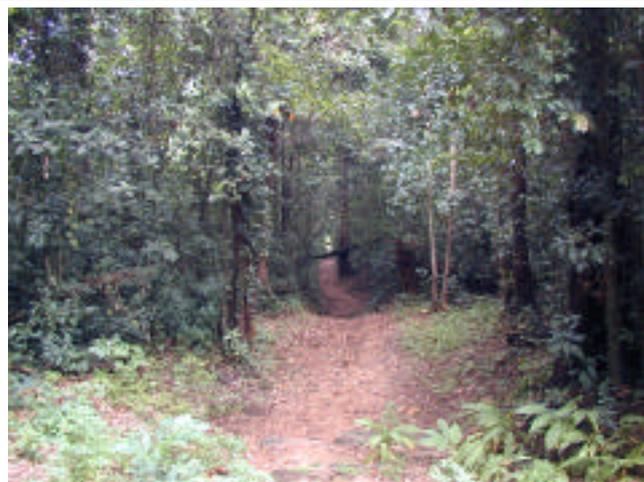
建設中の湿地研究センター、Chandrapur



路上での魚の販売、Balugaon



鳥類保護区となっているナラバン島（11月現在、いまだ水位が高く島は乾出していない）



生物多様性を育むインドに残された貴重な森林



KPRI 事務所棟、事務所棟の後方に研究施設棟が位置する



発酵過程のポット用土。用土は粉碎した雑草に尿素を加え切返したもの



チャラクディ川下流域の荒廃した森林



ゴムプランテーション：同下流域で水田に次ぐ面積を占める重要な産業



ペリヤル川との合流点から約 50km 上流のチャラクディ川と対岸山腹は譲与森林（元アブラヤシプランテーション）



アディラポリ (Adirapoli) 滝、エコツーリズムサイト



チャラクディ川の上流域は保護林に指定され、エコツーリズムサイトとして住民参加型で管理されている。



森林局が建設した飲料水用浅井戸



カルダモン乾燥機。木材を燃料。奥に乾燥室が有る。



森林局のアルビジア植栽地域。山火事、雑草、ゾウの食害による被害有り。



バナナ集出荷